

に係る給与所得者異動届出書

福島県須賀川市長		給 与 支 払 者 (特別徴収義務者)	所在地	〒962-0831 須賀川市八幡町135		特別徴収義務者 指 定 番 号 宛 名 番 号 所 属 氏 名 氏 名 当 絡 者 先	90008500		
給与所得者の マイナンバーを 記入してください。			フリガナ	カブシキガイシャマルマル			経 理		
			氏名又は名称	株式会社 ○○○			牡丹美子		
			個人番号 又は法人番号	1234567890123			0248-75-○○○○ 内線 ()		
日提出									
給 与 所 得 者	フリガナ	スカガワ サブロー		(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異 動 年 月 日	異 動 の 事 由	異 動 後 の 未 徴 収 税 額 の 徴 収 方 法 (注)
	氏名	須賀川 三郎							
	生年月日	(昭 ・ 平) 2 年 9 月 29 日							
	個人番号	987654321012							
	受給者番号	0110							
	1月1日 現在の住所	須賀川市柱田字中地前22							
異動後の 住所	宮城県○○○		60,000 円	40,000 円	20,000 円	◇◇ 年 1 月 31 日	1 右から 番号を 記入 事由・理由 〔 1. 退職・長 2. 転 職 ・ 欠 亡 3. 休 職 ・ 死 4. 死 5. 支払少額・不定期 6. 合 併 ・ 解 散 7. そ の 他 〕	2 右から 番号を 記入 1. 特別徴収継続 2. 一 括 徴 収 3. 普 通 徴 収 (本人納付)	

1. 特別徴収継続の場合		退職に伴い住所の異動があれば記入してください。				新しい勤務先へは、月割額_____円を			
新しい勤務先 (特別徴収義務者)	特別徴収義務者 指 定 番 号				法人番号		月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済です。	受給者番号	
	所 在 地			〒	担当者連絡先	所 属			
	フリガナ					氏 名			
	氏名又は名称			電 話	内線 ()	納入書の要否 (新規の場合のみ記載) ☐ 右から 番号を 記入	1. 必要 2. 不要		

2. 一括徴収の場合				左記の一括徴収した税額は、	
理由	2 右から 番号を 記入	1. 異動が 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	2 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
		2. 異動が ◇◇ 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	◇◇年2月20日	20,000 円	

3. 普通徴収の場合		一括徴収の場合、納入月は必ず記入してください。		徴収済月	更正月
理由	☐ 右から番号を記入 1. 異動が 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため	市 町 村	異動事由		
			退職一括 ・ 休職一括 ・ 他一括() ・ 転勤特徴		

(注) 新年度分又は両年度分の異動届出書を作成する場合における「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄等の記載方法

① 新年度分の異動届出書を作成する場合であって、新しい勤務先において特別徴収されることを希望する場合、本欄は記載せずに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。普通徴収されることを希望する場合、本欄及び各徴収方法欄は記載不要です。

② 両年度分の異動届出書を作成する場合、本欄は異動年月日時点で現に特別徴収している特別徴収税額について記載してください。

③ 両年度分の異動届出書を提出する場合における、現年度分及び新年度分それぞれの異動後の税額については、原則として以下の徴収方法によることを希望しているものと扱われます。

(現年度分) 本欄で選択した徴収方法。

(新年度分) 「1. 特別徴収継続の場合」欄に記載があった場合は新しい勤務先における特別徴収。記載がなかった場合は普通徴収。

市町村記入欄	異動事由			
	退職一括 ・ 休職一括 ・ 他一括() ・ 転勤特徴			
	退職普徴 ・ 休職普徴 ・ 他普徴() ・ 特徴継続			
	入力日	前年度	新年度	

給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

		年度	1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度			
福島県須賀川市長		給与 (特別徴収義務者)	所在地	〒962-0831 須賀川市八幡町135		特別徴収義務者 指定番号		90008500		
給与所得者の マイナンバーを 記入してください。		日提出	フリガナ	カブシキガイシャマルマル		宛名番号				
			氏名又は名称	株式会社 ○○○		所属		経理		
			個人番号 又は法人番号	1234567890123		氏名		牡丹美子		
					当絡者先		0248-75-○○○○			
給与 所得者	フリガナ	スカガワ サブロー		(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動 年月日	異動の事由	内線 ()	
	氏名	須賀川 三郎								
	生年月日	(昭・平) 2 年 9 月 29 日								
	個人番号	987654321012								
	受給者番号	0110								
	1月1日 現在の住所	須賀川市柱田字中地前22								
異動後の 住所	宮城県○○○		60,000 円	6 月から 11 月まで 30,000 円	12 月から 5 月まで 30,000 円	◇◇ 年 11 月 30 日	1 右から 番号を 記入	1. 退職 2. 転職・長欠 3. 死 4. 支払少額・不定期 5. 合併・解散 6. その他 7. その他 []	3 右から 番号を 記入	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)

1. 特別徴収継続の場合										
(新しい勤務先)	特別徴収義務者 指定番号	〒		法人番号		新しい勤務先へは、月割額_____円を				
	所在地			担当者 連絡先	所属	_____月分(翌月10日納入期限分)から				
	フリガナ			氏名	徴収し、納入するよう連絡済です。					
	氏名又は名称			電話	内線 ()		受給者番号	_____		
							納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	☐ 右から 番号を 記入	1. 必要 2. 不要	

2. 一括徴収の場合					左記の一括徴収した税額は、	
理由	☐	1. 異動が	年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	☐ 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
		2. 異動が	年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	月 日	円	

3. 普通徴収の場合	
理由	☐ 1. 異動が ◇◇ 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため

※市町村記入欄	宛名コード	徴収済月	更正月
	異動事由		
	退職一括 ・ 退職一括 ・ 他一括() ・ 転勤特徴 退職普徴 ・ 退職普徴 ・ 他普徴() ・ 特徴継続		
	入力日	前年度	新年度

(注) 新年度分又は両年度分の異動届出書を作成する場合における「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄等の記載方法

① 新年度分の異動届出書を作成する場合であって、新しい勤務先において特別徴収されることを希望する場合、本欄は記載せずに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。普通徴収されることを希望する場合、本欄及び各徴収方法欄は記載不要です。

② 両年度分の異動届出書を作成する場合、本欄は異動年月日時点で現に特別徴収している特別徴収税額について記載してください。

③ 両年度分の異動届出書を作成する場合における、現年度分及び新年度分それぞれの異動後の税額については、原則として以下の徴収方法によることを希望しているものとして扱われます。

(現年度分) 本欄で選択した徴収方法。

(新年度分) 「1. 特別徴収継続の場合」欄に記載があった場合は新しい勤務先における特別徴収。記載がなかった場合は普通徴収。

給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

年度		1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度	
福島県須賀川市長		給与 (特別徴収義務者) 支 払 者		所在地		〒962-0831 須賀川市八幡町135	
				フリガナ		カブシキガイシャマルマル	
				氏名又は名称		株式会社 ○○○	
				個人番号 又は法人番号		1234567890123	
特別徴収義務者 指 定 番 号		90008500		宛 名 番 号			
所 属		経 理		氏 名		牡丹美子	
異 動 年 月 日		0248-75-○○○○		内 線 ()		異 動 後 の 未 徴 収 税 額 の 徴 収 方 法 (注)	
異 動 の 事 由		1. 退職 2. 転職・長欠 3. 死 4. 支払少額・不定期 5. 合併・解散 6. その他 7. その他		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)			
1月1日現在の住所		須賀川市柱田字中地前22		宮城県○○○		退職に伴い住所の異動があれば記入してください。	
異動後の住所		宮城県○○○		60,000 円		20,000 円	
6 月から 9 月 まで		10 月から 5 月 まで		◇◇ 年 9 月 30 日		2 右から番号を記入	
事由・理由		1. 退職 2. 転職・長欠 3. 死 4. 支払少額・不定期 5. 合併・解散 6. その他 7. その他		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)		1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)	

1. 特別徴収継続の場合		新しい勤務先へは、月割額 5,000 円を 10 月分(翌月10日納入期限分)から徴収し、納入するよう連絡済です。	
(新しい勤務先)		特別徴収義務者 指 定 番 号	
90009999		法人番号	
2345678901234		所 属	
経 理		氏 名	
赤松 百合		022-○○○-△△△△	
内 線 ()		受給者番号	
9630		納入書の要否 (新規の場合のみ)	
1 右から番号を記入		1. 必要 2. 不要	

2. 理由		必ず転勤先を経由して送付してください。 ※特別徴収義務者が変わらない場合は、報告の必要はありません。	
給与支払者の法人番号又はマイナンバーを記入してください。		会社使用の社員番号等があれば、必ず記入してください。	
定月日		(上)	
月 日		月 日	

3. 普通徴収の場合	
理由	1. 異動が 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため

※市町村記入欄	宛名コード	徴収済月	更正月
	異動事由		
	退職一括 退職普徴	休職一括 休職普徴	他一括() 他普徴()
	入力日	前年度	新年度

(注) 新年度分又は両年度分の異動届出書を作成する場合における「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄等の記載方法
① 新年度分の異動届出書を作成する場合であって、新しい勤務先において特別徴収されることを希望する場合、本欄は記載せずに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。普通徴収されることを希望する場合、本欄及び各徴収方法欄は記載不要です。
② 両年度分の異動届出書を作成する場合、本欄は異動年月日時点で現に特別徴収している特別徴収税額について記載してください。
③ 両年度分の異動届出書を作成する場合における、現年度分及び新年度分それぞれの異動後の税額については、原則として以下の徴収方法によることを希望しているものとして扱われます。
(現年度分) 本欄で選択した徴収方法。
(新年度分) 「1. 特別徴収継続の場合」欄に記載があった場合は新しい勤務先における特別徴収。記載がなかった場合は普通徴収。